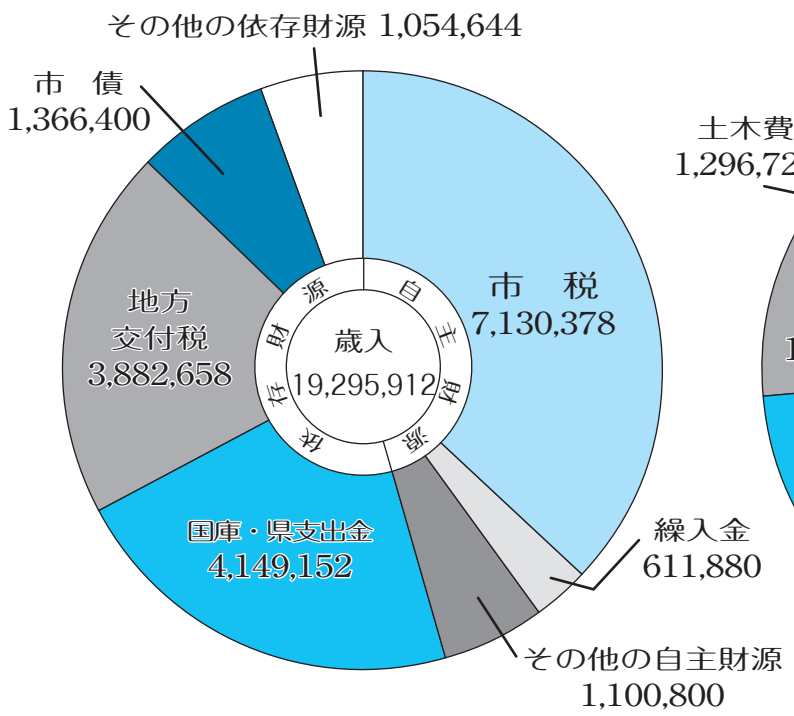
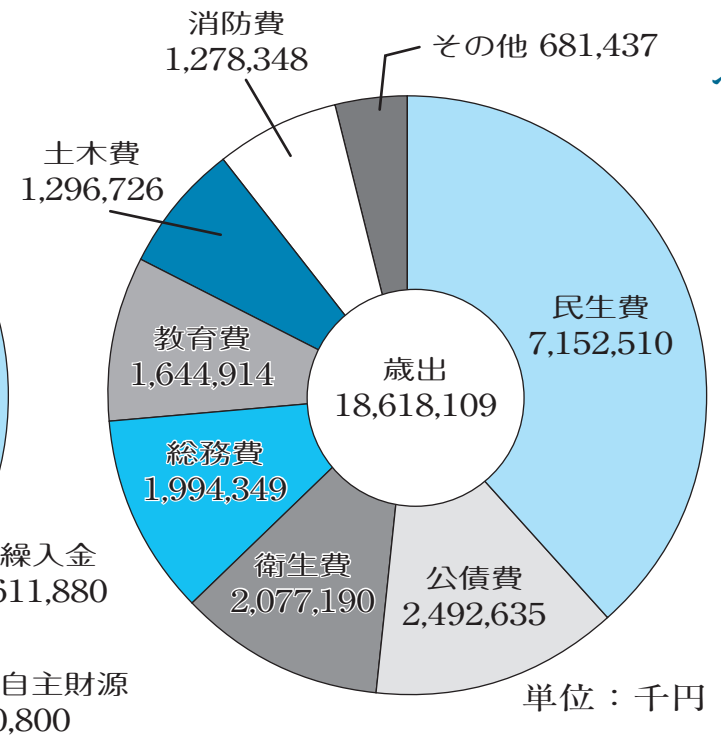
平成23年度決算を公表

本市の財政状況を知っていただくため、平成24年12月市議会定例会で認定された平成23年度決算のうち、市政運営の基本的な経費を計上する一般会計の状況を中心にお知らせします。

詳しくは、市役所財政課☎443－1117へ。





○一般会計

平成23年度の歳入総額は192億9591万2千円、歳出総額は186億1810万9千円で、歳入歳出の差引総額は6億7780万3千円となりました。この中には24年度に繰り越した事業費などに充てる財源4948万8千円が含まれています。これを差し引いた実質収支は6億2831万5千円となりました。

【歳入】

歳入の根幹である市税は市民税は減少したものの、固定資産税やたばこ税が増加し、対前年度比98388万1千円増（1・4％増）となりました。

また、地方交付税は対前年度比で1億6196万4千円増（4・4％増）、繰入金は庁舎建設基金の廃止などにより基金からの繰入金が増加して2億6977万1千円増（78・9％増）となりました。

一方、市債は地方交付税の振替である臨時財政対策債が減少したことなどから対前年度比3億7410万円減（21・5％減）、前年度からの繰越事業が減少したことから繰越金は対前年度比1億8795万4千円減（40・6％減）となったことなどにより、歳入総額は対前年度比5001万6千円減（0・3％減）となりました。

【歳出】

歳出のうち最も多いものは民生費で、障害者自立支援給付事業費、子ども手当支給費、生活保護費などの増加により対前年度比4億5699万3千円増（6・8％増）となりました。

また、東日本大震災の影響などによるごみ処理経費の増加などにより衛生費が1億4524万9千円増（7・5％増）、土木費は主要な生活道路の整備をしたことなどにより1億1086万2千円増（9・3％増）となりました。

一方、教育費は小・中学校の耐震化事業や八街中学校武道場の建設の終了などにより対前年度比7億7400万7千円減（32・0％減）となりました。

そのほか、公債費についても前年度に比べ1261万4千円減（0・4％減）となりました。

○特別会計

特別会計とは、国民健康保険や学校給食事業などの特定の事業を行うための会計と、水道や下水道事業など法律により独立採算を原則とする会計をいいます。

なお、特別会計における決算の状況は左表のとおりです。

特別会計の歳出決算額など

国民健康保険	87億5,950万4千円
うち保険給付費	58億3,125万4千円
後期高齢者医療	3億4,563万0千円
うち広域連合納付金	3億3,858万8千円
介護保険	32億6,228万9千円
うち保険給付費	31億6,643万0千円
学校給食センター事業	6億9,136万8千円
給食実施日数	182日/年
平均給食数	6,615食/日
下水道事業	9億2,361万1千円
水洗化人口	19,165人
水道事業	20億3,076万7千円
給水戸数	13,927戸
給水人口	38,828人

○基金残高の状況

基金には、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるものと特定の目的のために定額の資金を運用するために設けられるものがあります。

なお、一般会計に属する主な基金の23年度末の残高状況は左表のとおりです。

主な基金の残高状況

一般会計財政調整基金	12億8,906万5千円
塵芥処理施設建設改良基金	2640万7千円
し尿処理基金	6万5千円
用排水路建設改良基金	2億7378万9千円
教育施設建設改修基金	4400万5千円
減債基金	2861万8千円
青少年育成基金	991万1千円
地域振興基金	197万7千円
地域福祉基金	2,331万円
まちづくり基金	5万7千円
落花生の郷やちまた応援寄附金によるまちづくり基金	246万1千円
文化会館建設基金	104万8千円
野球場建設基金	105万2千円
地域活性化（住民生活に光をそそぐ交付金）による弱者支援の充実を図る基金	446万3千円